

浜銀総研 News Release



2013年 3 月 18 日

神奈川県内企業の今春の賃上げ状況と 今夏のボーナス支給予定

—— 企業経営予測調査（2013年 3 月）特別調査結果 ——

要 旨

【今春の賃上げ状況】

神奈川県内中堅・中小企業における今春の賃上げ状況は、賃上げを「実施する」企業の回答企業全体に占める割合が 31.8%、「一部実施する」とする企業の割合が 17.6%となった。両者をあわせた「賃上げを予定する」企業の割合は 49.4%とほぼ半数を占め、前年調査（2012 年 3 月実施）の 47.4%から 2.0%ポイント上昇した。また、前年と比べた賃上げ幅は「前年並み」とする企業が最も多く、「賃上げを予定する」企業の 65.0%となった。このように、県内企業における今春の賃上げ状況は昨年と比べて改善傾向にあることが明らかになった。

なお、「賃上げを予定する」企業の割合は、現在の業況が良いとする企業ほど高くなる傾向がみられた。

【今夏のボーナス支給予定】

神奈川県内中堅・中小企業の今夏のボーナス支給状況は、ボーナスを「支給する」企業の回答企業全体に占める割合が 83.4%と 2012 年冬に比べて 3.2%ポイント上昇した。経済環境の好転を受けて、支給を考えている企業が増えているものの、支給総額が「金額未定」の企業は 25.9%と高水準にある。

※神奈川県内の中堅・中小企業に対して実施した企業経営予測調査（2013 年 3 月）のなかで、特別調査として今春の賃上げ状況、今夏のボーナスの支給予定などについての調査を実施した。

【本件についてのお問い合わせ先】
㈱浜銀総合研究所 調査部 宮下 敦
TEL. 045-225-2375（ダイヤルイン）

【今春の賃上げ状況】

（今春、賃上げ予定の企業の割合が高まった）

今春の賃上げ状況について尋ねたところ、賃上げを「実施する」企業の割合が31.8%、「一部実施する」とする企業の割合が17.6%を占め、両者をあわせた「賃上げを予定する」企業の割合は49.4%でほぼ半数を占めた。反面で、「実施しない」とする企業は28.0%と3割弱を占め、「賃下げ、賃金カットを実施する」企業の割合は0.8%となった。ただ、「未定」とする企業は21.8%を占めた。

前年の調査（2012年3月調査）と比べると、賃上げを予定する企業の割合が2.0%ポイント上昇する一方で、実施しない企業が4.0%ポイント低下した。また、未定の企業が2.5%ポイント上昇した。

今春の賃上げ実施予定

（回答社数構成比、%）

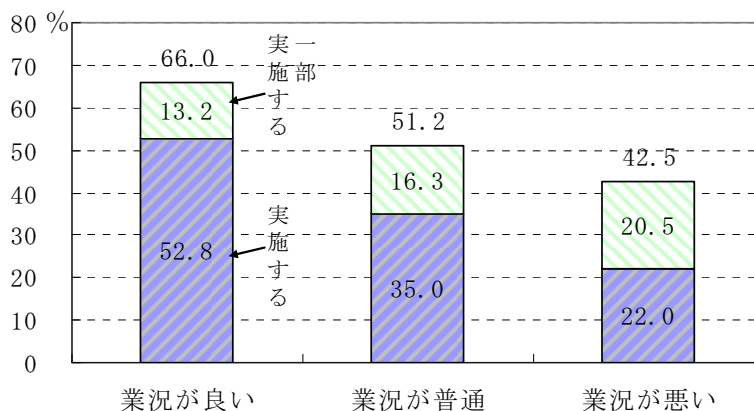
	賃上げを 予定する	実施 する	一部 実施する	実施 しない	賃下げ、 賃金カット を実施する	未定
2013年3月調査	49.4	31.8	17.6	28.0	0.8	21.8
2012年3月調査	47.4	29.7	17.7	32.0	1.4	19.3
2011年3月調査	47.5	29.6	17.9	32.9	1.4	18.2

（注）2013年3月調査の回答社数は500社、うち製造業197社、非製造業303社。

（業況が良い企業で賃上げを予定する企業の割合は66.0%）

今春の賃上げについて、足元の業況判断別に「賃上げを予定する」とした企業が占める割合をみると、「業況が良い」とする企業では66.0%、「業況が普通」とする企業では51.2%、「業況が悪い」とする企業では42.5%となっている。

業況判断別にみた賃上げを予定する企業の割合



（注）数値は、業況判断別にそれぞれの全回答企業の合計に占める「実施する」と「一部実施する」とする企業の割合。

（前年から賃上げ幅を拡大する企業の割合が上昇した）

次に、前年と比べた賃上げ幅についてみると、「前年並み」とする企業が全体の 65.0%と最も多く、次いで「縮小する」が 15.0%を占めた。反面で、「拡大する」と回答した企業は 10.2%となった。なお、前年調査と比べると、「拡大する」と回答した企業の割合は 1.2%ポイント上昇した。一方で、「前年並み」は 0.8%ポイント低下し、「縮小する」も 4.2%ポイント低下した。また、「未定」の企業の割合は 3.8%ポイント上昇した。県内企業における今春の賃上げ状況は昨年と比べて改善する傾向にあることが確認された。

前年と比べた賃上げ幅

（回答社数構成比、%）

	拡大する	前年並み	縮小する	未定
2013年3月調査	10.2	65.0	15.0	9.8
2012年3月調査	9.0	65.8	19.2	6.0
2011年3月調査	14.1	63.0	17.0	5.9

（注）2013年3月調査の回答社数は 246 社、うち製造業 110 社、非製造業 136 社。

【今夏のボーナスの支給予定】

（今夏のボーナスを支給する企業の割合は83.4%と昨冬に比べて3.2%ポイント上昇）

今夏のボーナス支給予定について尋ねたところ、「支給する」企業の回答企業全体に占める割合が83.4%となり、以下、「支給しない」企業が4.1%、「支給については今のところ未定」が9.9%、「ボーナス支給制度がない」とする企業が2.5%となった。

2012年冬のボーナスの調査結果と比較すると、「支給する」企業の割合が3.2%ポイント上昇した。反面で、「支給しない」が5.4%ポイントの大幅な低下となった。また、「支給については今のところ未定」が2.7%ポイント上昇した。円安基調や株価の回復など、経済に明るいムードが広がったことなどから、今夏のボーナス支給状況は2012年冬に比べて好転する見込みである。

（今夏のボーナス支給総額の増減が未定の企業の割合は25.9%）

次に、今夏のボーナス支給総額（資金量）についてみると、「前年並み」とする企業が回答企業全体の38.7%と最も多くなった。続いて、2012年夏の支給総額と比べて、「減少する」が10.1%、「増加する」が8.7%となり、「金額未定」は25.9%と高水準だった。

今夏のボーナス支給状況

(回答社数構成比、%)

	支給する					支給しない	未定	制度がない
		増加	前年並み	減少	金額未定			
2013年夏	83.4	8.7	38.7	10.1	25.9	4.1	9.9	2.5

(注) 2013年夏の回答企業数は483社、うち製造業191社、非製造業292社。

※本ニュースリリースの集計は速報であり、後日発行する報告書の計数と異なる場合があります。

以 上

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。